

事業所名		はじめのいっぽ美園		支援プログラム（参考様式）		作成日		7 年		2 月		1 日	
法人（事業所）理念		「自分らしさを知り、認め、受け入れ、自分を大切にできる大人へ」											
支援方針		一人ひとりの発達段階や特性を深く理解し、丁寧に関わることで小さな成功体験を積み重ねられるように支援します。 小さな成功体験の積み重ねが自信へと繋がり、主体的・意欲的な行動へと成長できるように、小さな「出来た」に共感し、寄り添っていきます。 一人では勇気が出ないことも、一緒に寄り添うことでチャレンジしたくなる。そんな小さなチャレンジを応援、サポートしていきます。											
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで				送迎実施の有無		あり					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	手洗い・排泄・食事・おやつ、お昼の会・帰りの会・クッキング 身支度・睡眠・検温、お片付け 自分でできることが増えるように、支援します。子どもたちの健康状態を把握し、異常がみられる場合は早急に対応ができるように関係部署と連携を図ります。											
	運動・感覚	体育療育・リトミック・運動遊び、小麦粉粘土・片栗粉・高野豆腐・春雨・ジェル粘土遊び、クッキング、製作遊び、絵具遊び、体操、ダンス 大きな粗大運動から、細かい微細運動まで、楽しく遊びながら向上できるように支援します。											
	認知・行動	小集団遊び、ゲーム遊び、音楽療育、お散歩、お出かけ、プリント遊び、形遊び、色遊び、数遊び、製作遊び、絵具遊び、体操、ダンス 自分だけではなく、他者の気持ちに気づくことができるように遊びを通して支援します。 自分の行動が、状況に合っているか、自分で考えることができるように支援します。											
	言語 コミュニケーション	音楽療育・英語療育、絵カード合わせ、かるた、小集団遊び、ごっこ遊び、絵本読み聞かせ、お昼・帰りの会、読み書きプリント遊び 言葉で伝えられない場合も、体で表現する方法や楽しさを伝え、気持ちを伝える喜びが感じられるように支援します。 職員がコミュニケーションの見本となり、方法を習得できるように支援します。											
	人間関係 社会性	小集団遊び、ゲーム遊び、お出かけ、お散歩、運動遊び、ごっこ遊び、模倣遊び、協同遊び、コーナ遊び、買い物ごっこ、お買い物 安心して生活できる空間作りから、愛着行動の形成へ支援します。 模倣遊びを通して、社会のルールや相手の気持ちの理解、対人関係の芽生えを支援します。											
家族支援		インスタグラムやラインワークスを使用し、事業所での子どもたちの様子を写真やメッセージで伝えていきます。保護者様の要望や、子育ての不安、悩み等には家庭訪問を行って一緒に考える時間を共有します。				移行支援		保育園・幼稚園や、相談支援事業所と連携を図り、円滑な支援を行うことができますようにしています。					
地域支援・地域連携		保育園との交流 地域の児童発達支援事業所との情報共有、児童発達支援センターとの情報共有				職員の質の向上		毎月の支援者会議、毎日の打ち合わせの実施。事業所内での研修、外部研修への参加、定期的な職員面談の実施。					
主な行事等		お誕生会、避難訓練、こどもの日、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分、ひな祭り、水遊び、雪遊び、公共施設へのお出かけ、買い物、クッキング											